



敬老の目を前に長寿祝賀

百三歳(施設最高齢)、米寿も

敬老の日(9月21日)を前に、このほど満百三歳(施設内最高齢者)の誕生日を迎えられた新保志満様(三号館Hユニット)が、担当するユニット職員から祝福を受けられ、記念撮影を行いました。(写真)



この他、施設ではDユニット浅賀義彦様が百一歳に、また、佐復すみ江様(Hユニット・写真)、小野里照子様(Iユニット・写真)、高橋安治様



(三号館シヨート)がめでたく米寿を迎えられました。

なお各ユニットにおいては、敬老の日を中心にそれぞれ祝賀イベントを予定しています。(イベント内容は次号に掲載)

令和2年9月15日発行
第72号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

苑内スポット

苑内各ユニットでは七月に続き、夏行事第二弾として納涼祭などが賑やかに行われました。(詳細は二面に掲載)



職員インタビュー (徳永郁恵さん)

「私もがんばってます」

◆徳永さんは花の苑開設(平成26年4月)以来から介護職員として勤務され、今は三号館(Hユニットリーダー)にて活躍されています。今までを振り返り、徳永さんが仕事の基本スタンスとして大切にしてきたものとは何でしょうか。

◇私はご利用者やご家族の話に耳を傾けることを大切にしてきました。どう施設で生活していきたいか、今までの習慣や今後の希望を知り、それに近づけるための支援方法を模索し、具体的サービスとして提供していきたいと思っています。

◆現在、コロナ禍で医療従事者や介護福祉などに携わる方たちを含め「エンセンシャルワーカー」の存在が注目されています。どんな感想をお持ちですか。



◇気が引き締まる思いです。私達は24時間体制でご利用者の生活を支えています。決してストンブする事のできない職業です。今後も自信を持って安全を提供できるように努めていきます。

◆施設の職員としてコロナ感染対策をどのように受け止めていますか。また、利用者様に対し、いまだのような配慮が必要でしょうか。

◇1年前とはまるで違う生活になりました。生活様式を変え、自分を守り、ご利用者も守る。新しい時代なんだと思、余りストレスを感じないようにしています。日頃、感染対策として私達にできることはしっかりと行っていますが、対策ばかりで重い空気にならないようにユニット内で楽しむことも提案しています。



◆徳永さんはスポーツインストラクターから、介護福祉の世界に転身を図られました。同様にこれから介護福祉を目指す方達に向けて、一言エールをお願いします。

◇一見、関係のない職業に見えても、生かせる部分はあるものです。今は、年齢、前職に関係なく介護の世界に転身する方が増えています。介護現場の仕事は長年追及するのにも良いですし、研さんを積むことでスキルアップを目指す職業だと思います。

ユニットたより

「射的に驚きの腕前」

Dユニットでは、八月行事として夏祭りを開催しました。

希望の多かったヨーヨー釣り、射的を実施。「射的なんて懐かしいな！よし！」と意気込み、見事紙風船の的に的中。皆様の腕前にスタッフは驚きました。

射的の景品は・・・小麦粉と風船で作った握力強化マスコット。皆様からは「お顔がかわいいわねえ〜」「小麦粉で出来てるの？なんとも言えない感触」と大好評。握るのもよし。飾るのもよし。

くりくりの目をしたDユニットのマスコットを可愛がってあげて下さい。そして、夏を感じられる食べ物第一位イチゴ・



メロンシロップあんど添えかき氷を召し上がっていただきました。残さず完食し、トッピングしたあんこが大好評でした。今月も皆様と一緒に楽しく行事を行うことができました。ご協力ありがとうございました。(Dユニット I)

「猛暑吹き払う熱気？」

A・Sユニットではこのほど、七月に行った夏行事に続き第二弾として納涼祭を行いました。また、併せて八月の誕生



納涼・夏祭り第二弾！
各ユニットで賑やかに暑気払い

日会も実施しました。相変わらず続く猛暑の中、利用者様には『涼』を味わって頂きたく、職員特製のフルーツポンチを提供。「丁度いい甘さだね〜」と皆様ペロリと食べて下さいました。

その後、夏祭りレクの定番とも言える「缶の積み上げ競争」や「輪投げ」にチャレンジして頂きました。前者は缶を先に五つ積み上げた方が勝者というルール。皆様の勝敗を競って素早く積んでいるお姿にびっくりし、感動させられました。後者は景品がお菓子という事もあり、皆様気合が入り、「おー！」「わあー！」

という歓声と笑い声が響き渡り、『涼』がどこかに行ってしまったかのよう熱気が最高潮に。

そして、この日の納涼イベントの最後には、八月の誕生日会を行い皆様の健康をお祝いし、細やかなプレゼントをさせて頂きました。(A・Sユニット A)

「よみがえる夏祭り」

Gユニットでは、記録的な連日の猛暑の中、利用者様の熱中症などの体調管理に気を配りながら、このほど納涼祭を行いました。

納涼祭と言ってもごく小単位の催しですが、まずは雰囲気作りからと、職員が祭りのはっぴを着て出店などを担当。この日の出店には、かき氷、綿菓子、ヨーヨー、ラム

ネ等々定番の品揃い。利用者様お一人一人に夏祭りにまつわる楽しかった思い出がたくさん

あった思い出がたくさん



あるかと思えます。ある方は、かき氷を食べながら「お祭り楽しかったね」と語り、息子や娘たちに「出店でいろんな物を買ってあげた当時の様子など懐かしそうに話しておられました。」

今回は別日程でショータイムでも納涼イベントを行いました。ここでも人気はかき氷とわた菓子。「かき氷、おいしい！」「わた菓子、久しぶりだね」などと祭りの雰囲気に浸りながら楽しんでおられました。(G・Sユニット H)



委員の一言メモ

★まだまだ暑い日が続きますが、暦の上では夏の終わり。やっばり、どこか寂しく感じます(未)

★コロナ禍でのこの半年間を振り返り、介護士としてご利用者の生活を支えられ、それによりまた、自分の生活が出来ていることに感謝です(恵)★人生初のおふるさと納税で宮崎地鶏の胸肉を四キロ購入。今からワクワク。でも、注文後・・・我が家の冷凍庫に入るか心配でなりません(聡)★朝晩涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑いので、熱中症に注意し、水分補給を(英)★今年も大型台風が接近。防災の意識が大事ですね(尚)

★このところ夜になると虫の音が聞こえ、毎日癒されています。皆様は最近何に癒されていますか(直)★浴衣を着てとても喜ばれていたご利用者様。着付けの得意な職員が帯もきれいに結んでくれたので、後ろ姿も記念撮影されていました(美)